



平成22年基準

# 山 梨 県 鉱 工 業 指 数

## 平成28年第三期（7～9月）分

### 1. 当期の概況

平成28年第三期（7～9月）分の山梨県鉱工業指数は、生産が前期比3.2%、出荷が同3.7%と上昇した。また、在庫が前期末比△8.1%と低下した。

平成22年=100

		季節調整済 指 数	前期(末)比 (%)	原 指 数	前年同期(末)比 (%)
鉱 工 業	生 産	103.0	3.2	104.6	5.4
	出 荷	102.0	3.7	103.7	5.7
	在 庫	62.8	△ 8.1	65.7	△ 12.6

※季節調整済指数とは、原指数から景気の動向とは関係ない季節的変動要素を調整した指数

生 産・・・季節調整済指数の前期比は2期連続の上昇、原指数の前年同期比は2期連続の上昇

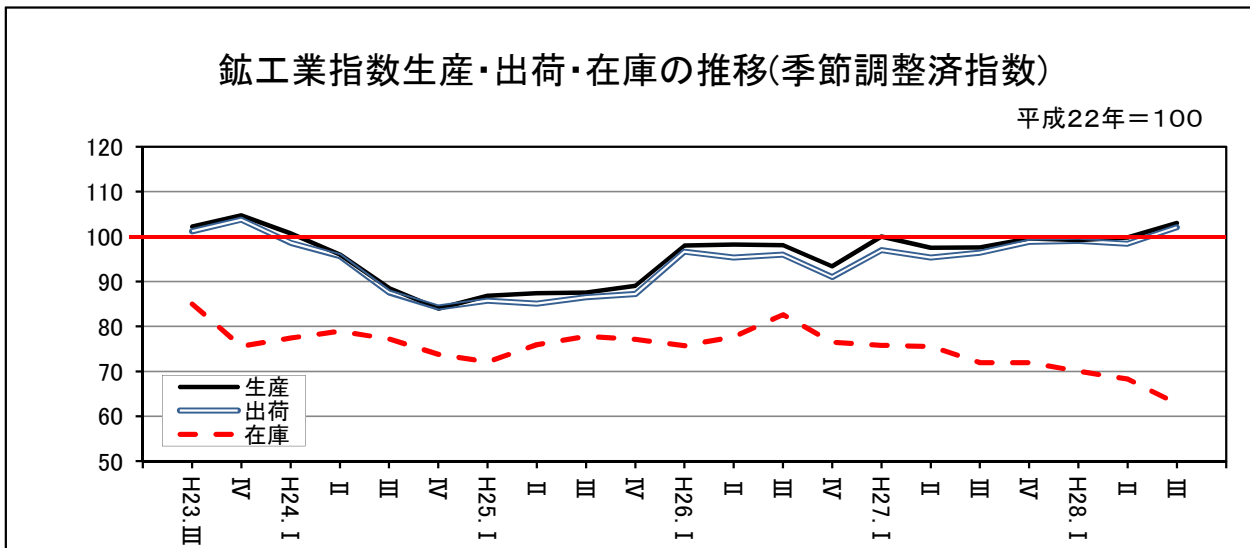
出 荷・・・季節調整済指数の前期比は2期ぶりの上昇、原指数の前年同期比は4期連続の上昇

在 庫・・・季節調整済指数の前期末比は3期連続の低下、原指数の前年同期末比は6期連続の低下

(P8参照)

鉱工業指数生産・出荷・在庫の推移(季節調整済指数)

平成22年=100



山梨県 県民生活部 統計調査課

<問い合わせ先>  
 商工業担当  
 電話 : 055-223-1341  
 FAX : 055-223-1347  
 E-Mail : toukei@pref.yamanashi.lg.jp  
 HP : http://www.pref.yamanashi.jp/toukei\_2/

## (1) 生産の動向

当期の生産指数は、103.0で前期比3.2%と上昇した。

これは、電気機械工業が前期比19.6%と上昇し、窯業・土石製品工業が同99.1%と上昇したことなどを主な要因としている。

全体では、電気機械工業、窯業・土石製品工業等の7業種が上昇し、はん用・生産用・業務用機械工業、情報通信機械工業等の9業種が低下した。

また、前年同期比では5.4%と上昇した。

### ○上昇した主な業種

業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
電気機械工業	19.6	3.09	その他の電子応用装置製造業 など 開閉装置製造業
窯業・土石製品工業	99.1	2.25	理化学用・工業用陶磁器製造業 生コンクリート製造業
食料品工業	2.2	0.32	生菓子製造業 など 蒸留酒・混成酒製造業

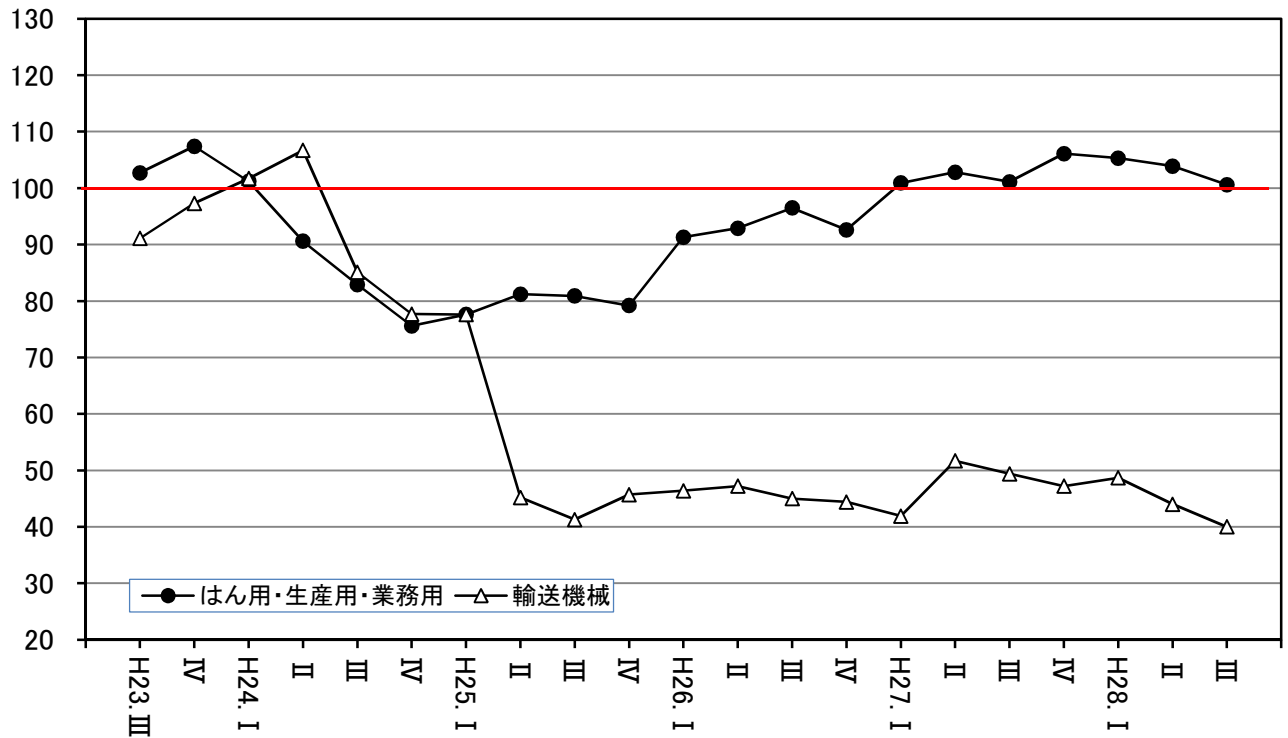
### ○低下した主な業種

業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
はん用・生産用・業務用機械工業	△ 3.2	△ 1.13	金属工作機械製造業 など 医療用機器製造業
情報通信機械工業	△ 6.1	△ 0.32	電子計算機製造業 無線通信機器製造業
プラスチック製品工業	△ 7.5	△ 0.29	プラスチック製日用雑貨製造業 など 工業用プラスチック製品製造業

## ◎主要産業の生産動向(季節調整済指数)

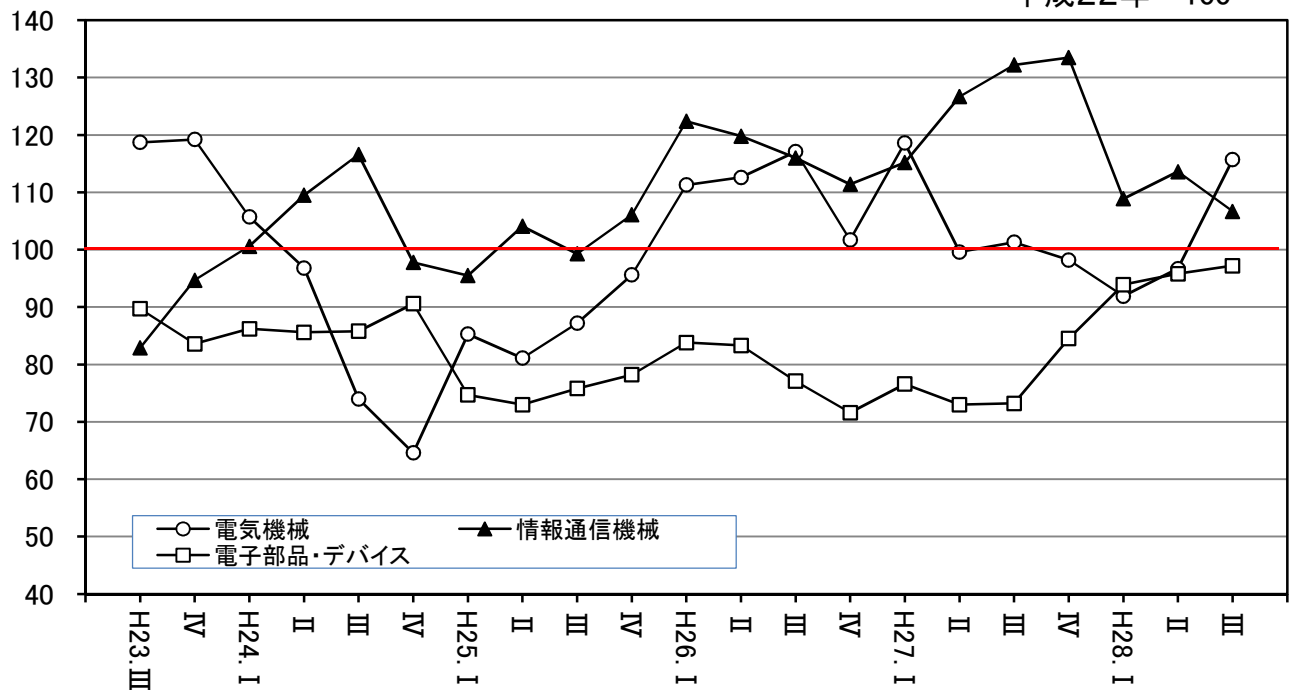
○はん用・生産用・業務用機械、輸送機械

平成22年=100



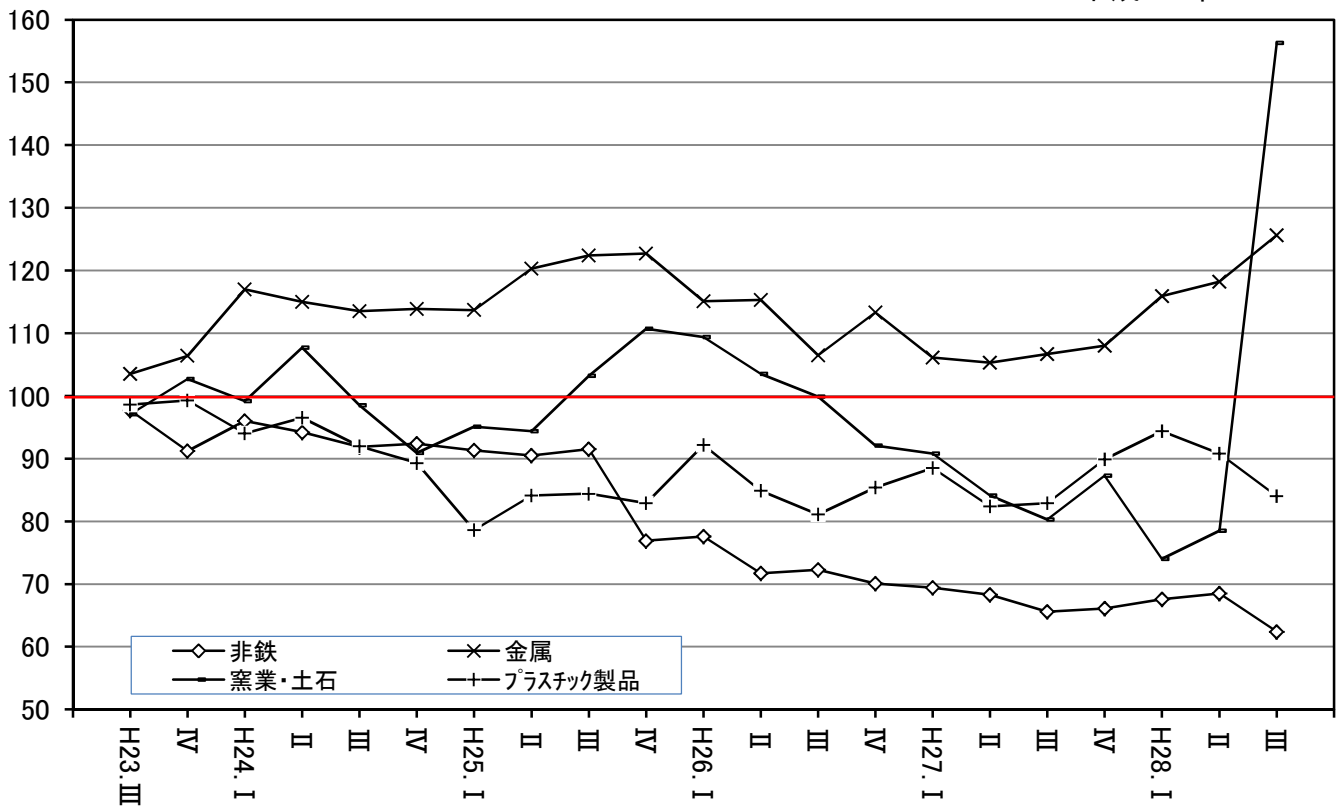
○電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイス

平成22年=100



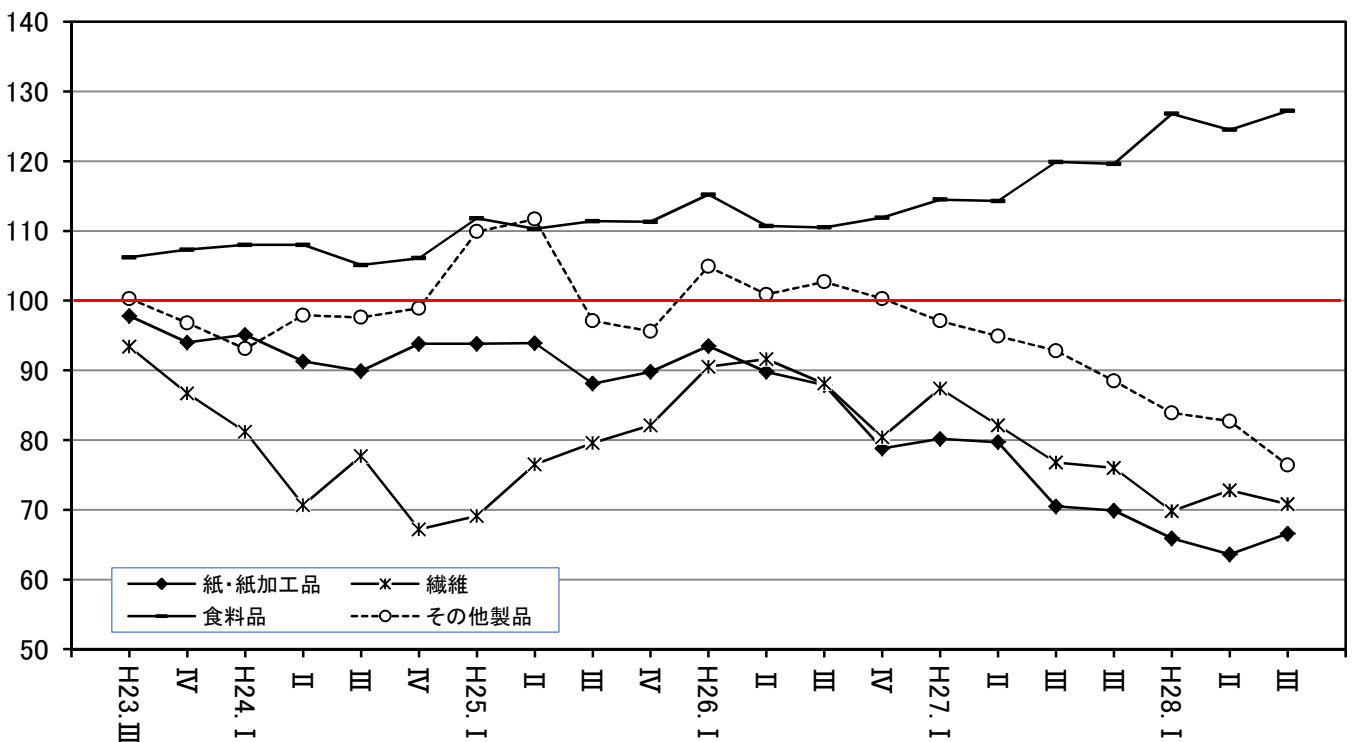
## ○非鉄、金属、窯業・土石、プラスチック製品

平成22年=100



## ○紙・紙加工品、繊維、食料品、その他製品

平成22年=100



## (2) 出荷の動向

当期の出荷指数は、102.0で前期比3.7%と上昇した。

これは、電気機械工業が前期比15.5%と上昇し、窯業・土石製品工業が同92.6%と上昇したことなどを主な要因としている。

全体では、電気機械工業、窯業・土石製品工業等の9業種が上昇し、はん用・生産用・業務用機械工業、輸送機械工業等の7業種が低下した。

また、前年同期比では5.7%と上昇した。

### ○上昇した主な業種

業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
電気機械工業	15.5	2.11	その他の電子応用装置製造業 など 開閉装置製造業
窯業・土石製品工業	92.6	1.87	理化学用・工業用陶磁器製造業 など 生コンクリート製造業
電子部品・デバイス工業	5.6	0.69	半導体素子製造業 など 集積回路製造業

### ○低下した主な業種

業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
はん用・生産用・業務用機械工業	△ 2.8	△ 0.96	金属工作機械製造業 など プラスチック加工機械製造業
輸送機械工業	△ 8.4	△ 0.17	自動車部分品製造業
非鉄金属工業	△ 8.4	△ 0.16	電線・ケーブル製造業 アルミニウムダイカスト製造業

### (3) 在庫の動向

当期末の在庫指数は、62.8で前期末比△8.1%と低下した。

これは、電気機械工業が前期末比△22.8%と低下し、はん用・生産用・業務用機械工業が同△8.7%と低下したことなどを主な要因としている。

全体では、電子部品・デバイス工業、金属製品工業の2業種が上昇し、電気機械工業、はん用・生産用・業務用機械工業等の10業種が低下した。(秘匿を除く)。

また、前年同期末比では△12.6%と低下した。

#### ○上昇した主な業種

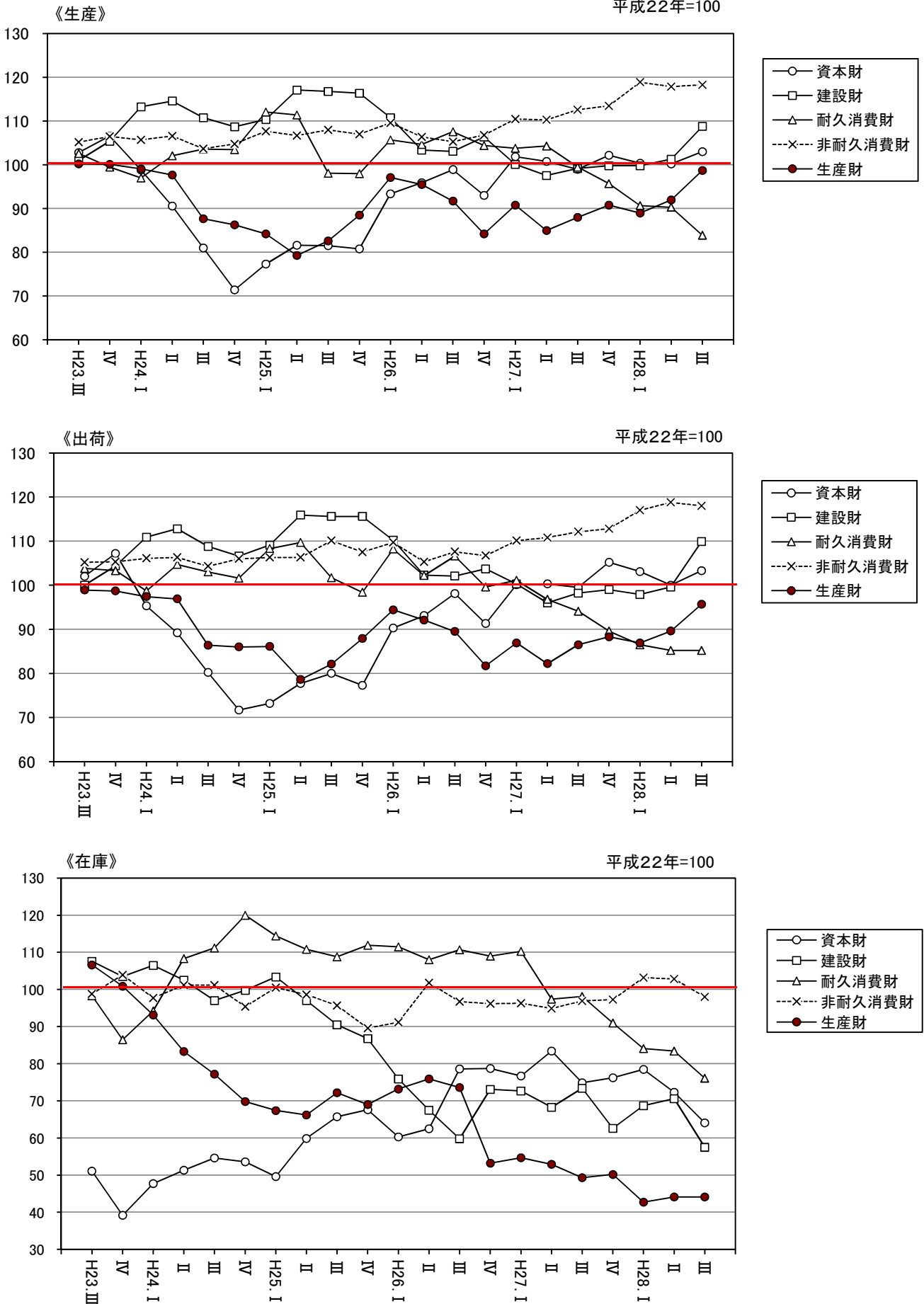
業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
電子部品・デバイス工業	20.8	1.00	プリント回路製造業 半導体素子製造業 など
金属製品工業	4.3	0.18	金属製スプリング製造業

#### ○低下した主な業種

業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
電気機械工業	△22.8	△2.23	電気計測器製造業 他に分類されない電気機器製造業
はん用・生産用・業務用機械工業	△8.7	△2.08	真空装置・真空機器製造業 事務用機器製造業 など
その他製品工業	△8.5	△1.06	貴金属・宝石製装身具製品製造業

## 2. 特殊分類の推移

◎特殊分類【生産・出荷・在庫グラフ】(季節調整済指数)



### 3. 全国との比較

#### (1) 生産

平成22年=100

年	期	全 国				山 梨			
		季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期)比	季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期)比
H24	Ⅲ	95.9	△ 3.2	97.3	△ 3.9	88.5	△ 7.8	90.5	△ 13.1
	Ⅳ	94.1	△ 1.9	95.2	△ 5.9	84.0	△ 5.1	85.6	△ 19.1
H25	Ⅰ	94.6	0.5	93.6	△ 7.8	86.8	3.3	83.1	△ 14.1
	Ⅱ	96.1	1.6	94.3	△ 3.0	87.4	0.7	87.6	△ 9.5
H26	Ⅲ	97.8	1.8	99.5	2.3	87.5	0.1	89.4	△ 1.2
	Ⅳ	99.6	1.8	100.7	5.8	89.0	1.7	90.8	6.1
	Ⅰ	101.9	2.3	101.3	8.2	98.0	10.1	94.8	14.1
H27	Ⅱ	98.8	△ 3.0	96.8	2.7	98.2	0.2	99.6	13.7
	Ⅲ	97.4	△ 1.4	98.7	△ 0.8	98.1	△ 0.1	100.8	12.8
	Ⅳ	98.2	0.8	99.2	△ 1.5	93.4	△ 4.8	92.4	1.8
	Ⅰ	99.3	1.1	99.0	△ 2.3	100.0	7.1	98.6	4.0
H28	Ⅱ	98.0	△ 1.3	96.0	△ 0.8	97.5	△ 2.5	98.1	△ 1.5
	Ⅲ	97.0	△ 1.0	97.8	△ 0.9	97.6	0.1	99.2	△ 1.6
	Ⅳ	97.1	0.1	98.4	△ 0.8	99.6	2.0	98.0	6.1
	Ⅰ	96.1	△ 1.0	97.4	△ 1.6	99.2	△ 0.4	97.9	△ 0.7
	Ⅱ	96.3	0.2	94.3	△ 1.8	99.8	0.6	100.3	2.2
	Ⅲ	97.6	1.3	98.2	0.4	103.0	3.2	104.6	5.4

#### (2) 出荷

平成22年=100

年	期	全 国				山 梨			
		季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期)比	季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期)比
H24	Ⅲ	94.6	△ 4.3	97.1	△ 3.6	87.6	△ 8.4	88.9	△ 13.7
	Ⅳ	93.4	△ 1.3	94.3	△ 6.4	84.2	△ 3.9	86.3	△ 18.5
H25	Ⅰ	96.5	3.3	95.5	1.3	85.7	1.8	81.6	△ 5.4
	Ⅱ	95.5	△ 1.0	93.1	△ 3.5	85.1	△ 0.7	85.2	△ 10.8
H26	Ⅲ	96.6	1.2	98.6	1.5	86.5	1.6	88.1	△ 0.9
	Ⅳ	99.1	2.6	100.4	6.5	87.2	0.8	90.2	4.5
	Ⅰ	101.7	2.6	102.6	7.4	96.6	10.8	93.1	14.1
H27	Ⅱ	97.1	△ 4.5	93.9	0.9	95.3	△ 1.3	96.4	13.1
	Ⅲ	96.6	△ 0.5	97.8	△ 0.8	96.0	0.7	98.4	11.7
	Ⅳ	97.5	0.9	98.5	△ 1.9	91.0	△ 5.2	91.1	1.0
	Ⅰ	98.2	0.7	99.6	△ 2.9	97.0	6.6	95.4	2.5
H28	Ⅱ	96.9	△ 1.3	93.4	△ 0.5	95.3	△ 1.8	95.8	△ 0.6
	Ⅲ	96.2	△ 0.7	97.0	△ 0.8	96.4	1.2	98.1	△ 0.3
	Ⅳ	96.6	0.4	97.7	△ 0.8	98.8	2.5	97.7	7.2
	Ⅰ	94.7	△ 2.0	97.2	△ 2.4	99.0	0.2	97.0	1.7
	Ⅱ	94.9	0.2	91.5	△ 2.0	98.4	△ 0.6	98.8	3.1
	Ⅲ	95.6	0.7	96.4	△ 0.6	102.0	3.7	103.7	5.7

#### (3) 在庫

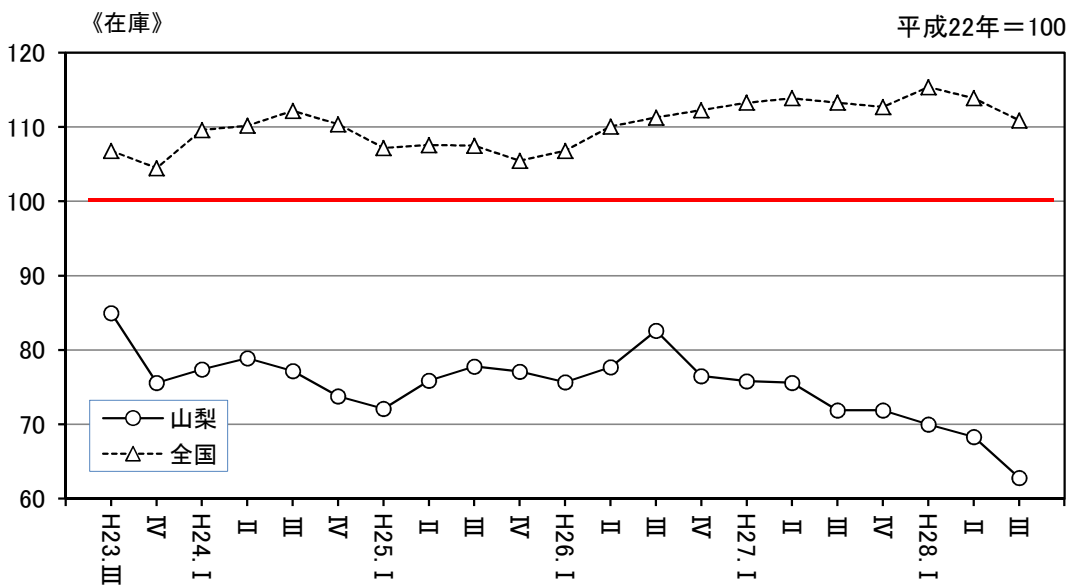
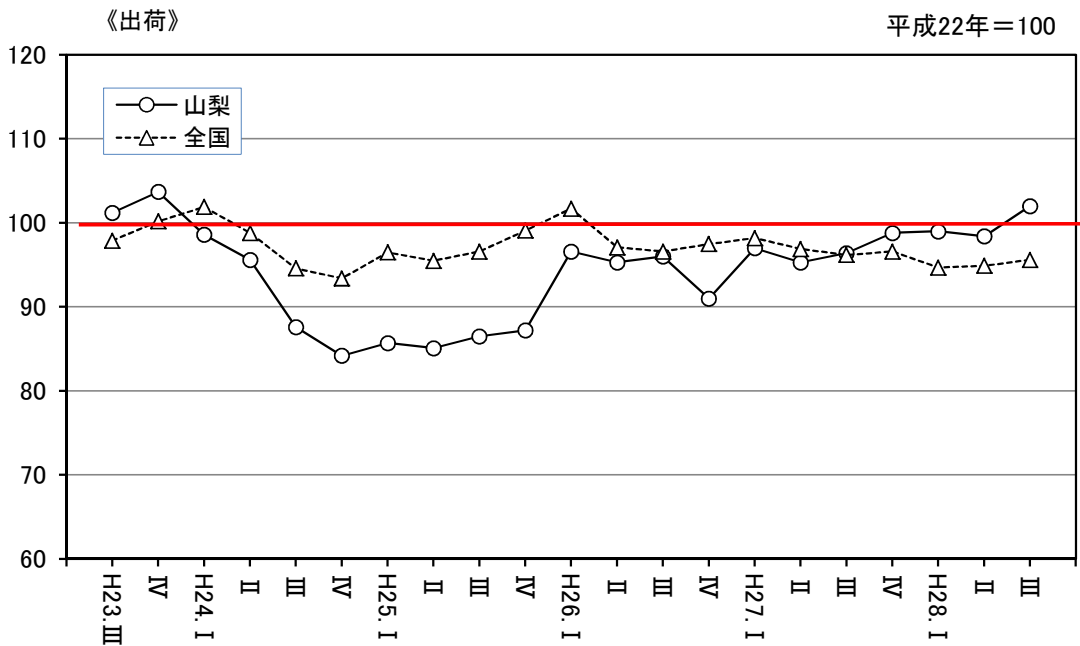
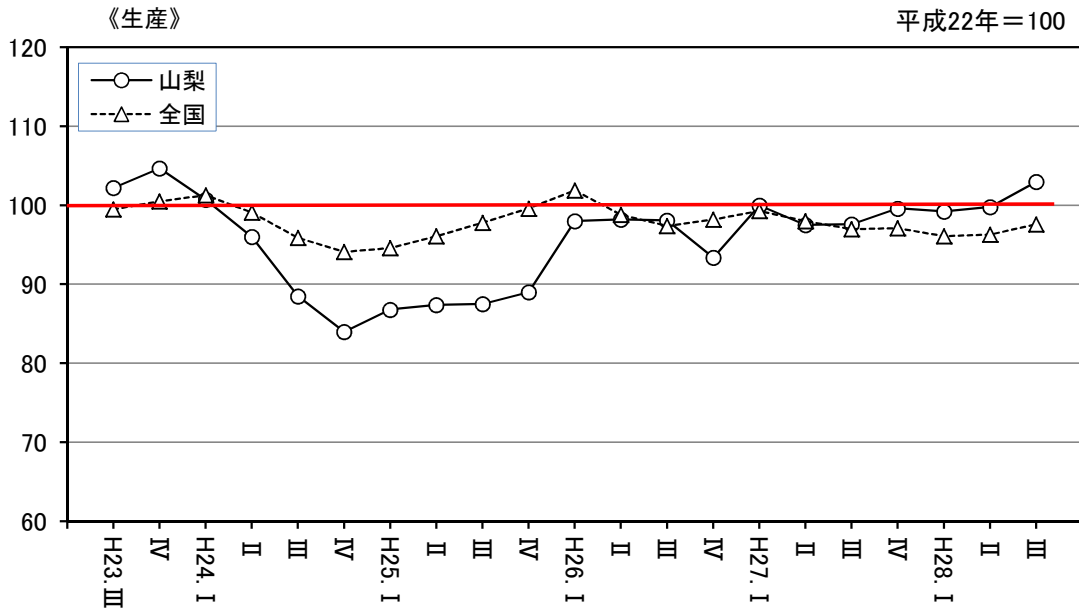
平成22年=100

年	期	全 国				山 梨			
		季節調整 済指数	前期末比	原指数	前年(同期) 末比	季節調整 済指数	前期末比	原指数	前年(同期) 末比
H24	Ⅲ	112.2	1.8	110.0	5.3	77.2	△ 2.2	77.0	△ 9.1
	Ⅳ	110.4	△ 1.6	110.5	5.2	73.8	△ 4.4	73.6	△ 3.0
H25	Ⅰ	107.2	△ 2.9	100.1	△ 3.0	72.1	△ 2.3	70.0	△ 7.7
	Ⅱ	107.6	0.4	105.7	△ 2.9	75.9	5.3	76.4	△ 2.2
H26	Ⅲ	107.5	△ 0.1	106.2	△ 3.5	77.8	2.5	78.7	2.2
	Ⅳ	105.5	△ 1.9	105.7	△ 4.3	77.1	△ 0.9	77.0	4.6
	Ⅰ	106.8	1.2	98.9	△ 1.2	75.7	△ 1.8	72.4	3.4
H27	Ⅱ	110.1	3.1	109.0	3.1	77.7	2.6	78.5	2.7
	Ⅲ	111.3	1.1	110.6	4.1	82.6	6.3	85.3	8.4
	Ⅳ	112.3	0.9	112.3	6.2	76.5	△ 7.4	76.6	△ 0.5
	Ⅰ	113.3	0.9	104.9	6.1	75.8	△ 0.9	72.8	0.6
H28	Ⅱ	113.9	0.5	113.3	3.9	75.6	△ 0.3	76.7	△ 2.3
	Ⅲ	113.3	△ 0.5	112.8	2.0	71.9	△ 4.9	75.2	△ 11.8
	Ⅳ	112.7	△ 0.5	112.3	0.0	71.9	0.0	72.3	△ 5.6
	Ⅰ	115.4	2.4	106.8	1.8	70.0	△ 2.6	67.2	△ 7.7
	Ⅱ	113.9	△ 1.3	113.3	0.0	68.3	△ 2.4	69.3	△ 9.6
	Ⅲ	110.9	△ 2.6	110.5	△ 2.0	62.8	△ 8.1	65.7	△ 12.6

※全国の指数は、経済産業省大臣官房調査統計グループ「生産・出荷・在庫指数確報」による。



## ◎全国指数との比較グラフ(季節調整済指数)



◎四半期別業種分類指数

(平成22年=100 季節調整済指数)

	生産指数						生産者出荷指数						生産者製品在庫指数					
	27年	28年					27年	28年					27年	28年				
	10~12	1~3	4~6	7~9	前期比	前年同期比	10~12	1~3	4~6	7~9	前期比	前年同期比	10~12	1~3	4~6	7~9	前期比	前年同期比
	月平均	月平均	月平均	月平均	(%)	(%)	月平均	月平均	月平均	月平均	(%)	(%)	月期末	月期末	月期末	月期末	(%)	(%)
鉱工業	99.6	99.2	99.8	103.0	3.2	5.4	98.8	99.0	98.4	102.0	3.7	5.7	71.9	70.0	68.3	62.8	△ 8.1	△ 12.6
鉄鋼業	88.2	86.0	82.6	92.3	11.7	4.9	88.4	86.9	82.8	92.1	11.2	4.7	—	—	—	—	—	—
非鉄金属工業	66.1	67.6	68.5	62.4	△ 8.9	△ 5.0	66.9	68.4	69.4	63.6	△ 8.4	△ 5.8	43.3	43.1	40.4	38.7	△ 4.2	△ 2.6
金属製品工業	108.0	115.9	118.2	125.6	6.3	17.3	109.3	115.0	118.2	125.4	6.1	14.3	43.2	48.6	53.2	55.5	4.3	△ 5.1
はん用・生産用・業務用機械工業	106.1	105.3	103.9	100.6	△ 3.2	△ 0.6	102.8	101.7	101.2	98.4	△ 2.8	0.8	57.2	50.5	53.1	48.5	△ 8.7	△ 2.5
電子部品・デバイス工業	84.5	93.9	95.8	97.2	1.5	32.8	83.0	90.6	94.0	99.3	5.6	33.1	40.8	41.9	33.2	40.1	20.8	8.6
電気機械工業	98.2	91.9	96.7	115.7	19.6	12.8	107.0	101.0	105.1	121.4	15.5	6.4	182.9	234.4	136.2	105.1	△ 22.8	△ 56.6
情報通信機械工業	133.5	108.9	113.6	106.7	△ 6.1	△ 19.4	139.8	126.7	112.6	117.2	4.1	△ 12.9	x	x	x	x	x	x
輸送機械工業	47.2	48.7	44.0	40.0	△ 9.1	△ 19.0	47.4	49.4	43.8	40.1	△ 8.4	△ 18.8	—	—	—	—	—	—
窯業・土石製品工業	87.3	74.0	78.5	156.3	99.1	95.2	87.3	74.3	76.8	147.9	92.6	86.1	96.7	95.1	97.2	85.3	△ 12.2	△ 27.4
プラスチック製品工業	89.9	94.4	90.8	84.0	△ 7.5	0.9	84.5	87.4	86.1	84.0	△ 2.4	3.3	39.7	40.9	37.7	33.7	△ 10.6	△ 8.7
紙・紙加工品工業	69.9	65.9	63.6	66.6	4.7	△ 5.8	66.4	63.8	67.5	67.0	△ 0.7	△ 4.4	87.3	94.5	68.7	64.0	△ 6.8	△ 22.1
繊維工業	76.0	69.8	72.8	70.8	△ 2.7	△ 7.9	87.3	81.8	76.0	74.8	△ 1.6	△ 7.1	19.0	16.2	23.0	22.6	△ 1.7	△ 22.6
食料品工業	119.6	126.8	124.5	127.2	2.2	5.9	118.2	123.1	124.5	124.6	0.1	5.8	96.4	102.2	105.0	101.5	△ 3.3	3.4
その他の工業	91.2	88.2	86.0	80.1	△ 6.9	△ 15.0	86.3	85.6	81.3	81.7	0.5	△ 9.3	95.8	86.8	87.5	78.4	△ 10.4	△ 24.0
家具工業	126.4	132.3	131.6	130.5	△ 0.8	6.1	144.5	144.7	145.7	143.5	△ 1.5	2.9	x	x	x	x	x	x
木材・木製品工業	94.9	85.8	78.5	69.0	△ 12.1	△ 18.9	100.8	94.1	73.1	73.3	0.3	△ 20.1	139.6	105.5	149.4	100.4	△ 32.8	△ 25.7
その他製品工業	88.5	83.9	82.7	76.4	△ 7.6	△ 17.3	81.0	78.5	75.9	76.2	0.4	△ 10.2	85.5	80.0	79.1	72.4	△ 8.5	△ 24.8
(参考) 機械工業	100.3	98.4	99.1	101.1	2.0	4.1	99.8	99.7	97.1	100.2	3.2	4.5	76.2	74.6	68.1	63.9	△ 6.2	△ 12.4
(参考) 電気機械工業(旧分類)	98.7	96.0	99.2	107.9	8.8	10.8	105.0	100.0	101.9	110.7	8.6	10.0	109.1	112.8	97.9	91.6	△ 6.4	△ 19.9
(参考) 一般機械工業(旧分類)	106.7	104.1	101.8	99.0	△ 2.8	△ 1.2	102.3	99.7	99.7	97.4	△ 2.3	0.4	44.9	41.3	40.8	36.1	△ 11.5	△ 4.9
(参考) 精密機械工業(旧分類)	105.2	111.7	112.1	102.9	△ 8.2	1.8	106.4	115.5	110.9	106.7	△ 3.8	3.2	139.7	126.5	135.5	132.5	△ 2.2	3.1
(参考) 産業総合	98.9	98.5	99.3	102.4	3.1	5.5	98.2	98.3	98.0	101.4	3.5	5.7	—	—	—	—	—	—

- (1) 生産、出荷は各期の平均指数を使用し、在庫は各期の末指数を使用している。  
(2) 前年同期比は原指数による。

◎四半期別特殊分類指数

(平成22年=100 季節調整済指数)

	生産指数						生産者出荷指数						生産者製品在庫指数					
	27年	28年					27年	28年					27年	28年				
	10~12	1~3	4~6	7~9	前期比	前年	10~12	1~3	4~6	7~9	前期比	前年	10~12	1~3	4~6	7~9	前期比	前年
	月平均	月平均	月平均	月平均	(%)	(%)	月平均	月平均	月平均	月平均	(%)	(%)	月期末	月期末	月期末	月期末	(%)	(%)
鉱工業	99.6	99.2	99.8	103.0	3.2	5.4	98.8	99.0	98.4	102.0	3.7	5.7	71.9	70.0	68.3	62.8	△ 8.1	△ 12.6
最終需要財	103.4	103.4	103.2	104.7	1.5	3.1	104.4	105.0	103.1	105.3	2.1	3.6	82.2	83.1	79.7	72.2	△ 9.4	△ 13.3
投資財	101.7	100.5	100.6	103.2	2.6	4.2	104.3	102.9	100.0	103.7	3.7	4.1	74.5	76.6	71.8	63.4	△ 11.7	△ 15.4
資本財	102.2	100.4	100.2	103.0	2.8	3.8	105.2	103.1	100.0	103.3	3.3	3.4	76.2	78.5	72.3	64.1	△ 11.3	△ 14.5
建設財	99.8	99.8	101.3	108.8	7.4	9.5	99.0	97.9	99.6	109.9	10.3	11.8	62.6	68.7	70.6	57.5	△ 18.6	△ 21.7
消費財	108.0	111.5	110.8	109.7	△ 1.0	0.3	106.9	108.8	110.9	109.9	△ 0.9	2.2	94.2	94.2	94.4	87.3	△ 7.5	△ 10.4
耐久消費財	95.7	90.7	90.3	83.9	△ 7.1	△ 15.4	89.6	86.5	85.2	85.2	0.0	△ 9.4	91.0	84.1	83.4	76.1	△ 8.8	△ 22.4
非耐久消費財	113.5	118.9	117.9	118.3	0.3	5.0	112.8	117.0	118.8	118.0	△ 0.7	5.2	97.3	103.2	102.8	98.0	△ 4.7	1.1
生産財	90.8	89.0	92.0	98.7	7.3	11.9	88.3	86.9	89.6	95.7	6.8	10.3	50.2	42.7	44.1	44.1	0.0	△ 10.7

(1) 生産、出荷は各期の平均指数を使用し、在庫は各期の末指数を使用している。

(2) 前年同期比は原指数による。

## 利用にあたって

- 1 目的 本県鉱工業における生産・出荷・在庫の動向を迅速かつ総合的に把握することを目的とする。
- 2 基準時 平成22年（2010年）  
平成26年1月分から基準を改定した。  
過去の指数については、すべて平成22年基準に改めた。
- 3 指数の分類 日本標準産業分類に準拠した「業種分類」と、品目の経済的用途に着目し、財別に格付けした「特殊分類」の2分類による。  
「特殊分類」については、次のとおりである。

	分類	定義
鉱工業 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">             最終需要財             <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">               投資財               <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 5px;">資本財</div> <div>建設財</div> </div> </div> <div>消費財               <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 5px;">耐久消費財</div> <div>非耐久消費財</div> </div> </div> </div> </div> </div>	最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料等として投入されない最終製品。
	投資財	資本財と建設財の合計。
	資本財	家計以外で購入される製品で、原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの。
	建設財	建築工事用の資材及び衛生用陶磁器等の建築物に付随する内装品及び土木工事用の資材。
	消費財	家計で購入される製品
	耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの。
	非耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年未満又は比較的購入価格が低いもの。
	生産財	鉱工業及び他の産業に原材料等として投入される製品。企業消費財を含み建設財を除く。
	鉱工業用生産財	鉱工業の生産工程に原材料、燃料、部品、容器、消耗品、工具として再投入される製品。
	その他用生産財	非鉱工業用の原材料、燃料、部品、容器、消耗品及び企業消費財。

- 4 採用品目 生産指数 126品目 生産者出荷指数 126品目  
生産者製品在庫指数 61品目
- 5 ウェイト 基準年における付加価値額、出荷額、在庫額それぞれについて、鉱工業全体を10000とした場合の各業種・品目の構成比である。
- 6 指数の算出
- $$\text{個別指数} = \frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times 100$$
- $$\text{総合指数} = \frac{(\text{個別指数} \times \text{基準時ウェイト}) \text{の総和}}{\text{基準時ウェイトの総和}}$$
- 7 季節調整 平成22年基準における季節調整は、米国センサス局の X-12-ARIMA を用いている。  
季節調整済指数は、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因、うるう年要因によっても調整されている（在庫については、季節要因のみ）。

- 8 寄与度 総合の増減比に対してその内訳である業種や品目の影響の度合いがどれだけあるかを示す。
- 9 年間補正 毎年、前年1年間の数値が確定した段階でさかのぼって原指数、季節調整済指数を再計算し、補正処理を行う。
- 10 留意事項
- ① 本書で掲載している指数値について、生産及び出荷は四半期の平均値を使用し、在庫は四半期の期末値を使用している。
  - ② 前期比は、季節調整済指数を使用し、前年同期比は、原指数を使用して計算している。
  - ③ 業種分類による在庫指数のうち、「鉄鋼業」「輸送機械工業」「産業総合」は指数系列として採用していない。  
また、「情報通信機械工業」「家具工業」については、採用品目、対象事業所が少数のため、指数値を秘匿している。
  - ④ 本書で使用している略称、符号は次のとおりである。  
「Ⅰ」：1～3月期、「Ⅱ」：4～6月期  
「Ⅲ」：7～9月期、「Ⅳ」：10～12月期  
「生産」：生産指数 「出荷」：生産者出荷指数  
「在庫」：生産者製品在庫指数  
「△」：マイナス 「x」：秘匿

平成28年第三期(7月～9月分)山梨県鉱工業指数  
山梨県県民生活部統計調査課 商工業担当  
T E L . 055-223-1341  
F A X . 055-223-1347  
[http://www.pref.yamanashi.jp/toukei\\_2/index.html](http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/index.html)

この冊子は、再生紙を使用しています。